

2017年8月22日

株式会社 ABC ライツビジネス / 朝日放送株式会社

**朝日放送の橋詰優子アナウンサーが映画初出演!!**  
**兵庫県加古川市を舞台にした映画『36. 8℃ (サンジウロクドハチブ)』公開へ!**  
**「ぼくらのレシピ図鑑」シリーズ第1弾を全国の自治体で展開**



朝日放送のグループ会社、株式会社 ABC ライツビジネス(本社:東京都中央区、代表取締役社長:幡谷和久)は、株式会社映画 24 区(東京都渋谷区/代表取締役:三谷一夫)と共に、全国の自治体と組んで映画「ぼくらのレシピ図鑑シリーズ」の展開を手掛けていきます。キーワードは「地域」「食」「高校生」!

シリーズ第1弾の「ひょうご加古川編」は、兵庫県加古川市を舞台にした映画『36. 8℃ (サンジウロクドハチブ)』です。この作品で11年ぶりにメガホンをとるのは安田真奈監督。

2006年に映画「幸福(しあわせ)のスイッチ(主演:上野樹里、沢田研二)」で監督・脚本を手掛けた安田は、定評ある取材力を駆使し、今回もオリジナル脚本を書き上げました。映画は、8月16日に加古川市にてクランクインし、11月18日より地元の映画館イオンシネマにて先行上映後、他地域での公開を予定しています。

本作の主演には、今年の秋に始まるNHK連続テレビ小説「わろてんか」でヒロインの妹役に抜擢された堀田真由に決定。また、朝日放送の橋詰優子アナウンサーが、女子高生の母親役として、映画出演に初挑戦します。

#### <「ぼくらのレシピ図鑑シリーズ」とは?>

地域の「食」をキーワードにした高校生たちの青春オリジナル映画。地域の食材やオリジナル料理が劇中にたくさん登場するのが特徴です。今後、全国の自治体と組んで、地域を徹底的に取材したオリジナル脚本で本シリーズを拡大・展開していきます。

ぼくらのレシピ図鑑公式HP <http://bokureci.eiga24ku.jp>

#### <映画「36. 8℃ (サンジウロクドハチブ)」とは?>

17歳の女子高生・若菜は、なにかと遠慮がち。家族や友達と平和に過ごしているが、時に微妙な温度差を感じて、悩んでしまう。見えない進路、家族の期待、気になる元カレ。悩みを打ち明けられるのは、SNSで知り合ったOL・みずほさんだけで…。加古川の街を舞台に、みずみずしい女子高生たちの日常を、豊かな食を交えて描く、オリジナルストーリー。

#### 橋詰優子(朝日放送)コメント

初めての映画出演。監督からの指示は「お腹から声を出さず、もっと滑舌悪く喋って下さい。」これがアナウンサーの私には、非常に難しい課題でした(笑)。作品には、加古川名産の瑞々しいフルーツやスイーツ、話題の「かつめし」等が随所に出ています。とてもお腹がすく映画!そしてフアリと加古川に行ってみたくなる、そんな作品です。

#### 幡谷和久(ABC ライツビジネス代表)コメント

弊社は、インバウンドや地域ブランディング・プロモーション等、観光や地域活性化を目的とした事業に力を入れており、この度映画という分野にて本プロジェクトに参画でき、非常に光栄です。強みのメディア・プロモーション戦略を軸に、地域ならではのあらゆるアプローチで、より多くの人々に映画を見てもらえるべく、サポートしていきたいと考えています。